

速度取締指針

豊平警察署の速度取締りの重点

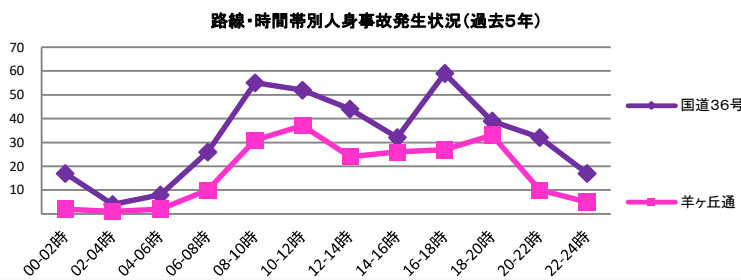
路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	6時～20時	市街地	指定速度(50km/h)
市道羊ヶ丘通	6時～20時	市街地	指定速度(50km/h) 法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

豊平警察署管内の交通事故実態等(過去5年)



- 過去5年の人身交通事故発生状況を路線別に比較すると市道が最も多く、次いで国道36号の発生が多い。
- 路線にかかわらず、交差点での発生が交差点以外より多い。



- 過去5年の幹線道路における時間帯別人身交通事故発生状況を見ると国道36号・羊ヶ丘通ともに朝方・薄暮時間帯が多い。

道路交通環境

- ◆ 主要幹線道路は国道36号と羊ヶ丘通であり、曜日を問わず交通量が多く、それに伴い事故の発生も多い。
- ◆ 管轄区は中央区・南区・白石区・厚別区、北広島市と隣接しており、様々な通行目的の車両が往来しており郊外部での実勢速度も速い。

取締要望

- ◆ 住宅街における駐車違反・保管場所法違反の取締要望が寄せられている。

～令和7年11月から令和8年4月までの豊平警察署管内の発生状況

- 死亡事故は、0件(前年同期比-2件-2名)であり、減少しています。
- 人身事故は、274件(前年同期比-24件)であり、減少しています。
- 地形では、交差点事故が97件(構成率53.6%)と割合が高くなっています。
- 事故類型では、車両同士の追突事故が96件(構成率35.0%)、車両同士の出会い頭事故が46件(構成率16.7%)、人対車両の事故が44件(構成率16.0%)と割合が高くなっています。

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、飲酒運転、市街地における交差点違反、シートベルト違反取締りを強化